

No.	013	—	2001	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	22年度～26年度 <input type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(2) 農業生産基盤の充実						
	事業の対象	一定の基準を満たす中山間地域の農地で、集落協定等に基づき5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等。				根拠法令	中山間地域等直接支払交付金実施要領等						
	事業の目的	最終的	担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的とします。			今年度	中間年評価の年度であり、集落協定で規定した事項の達成状況、進捗状況の評価し、制度全体の見直しを行います。						
	活動内容	①	集落協定に基づく耕作放棄地の発生防止活動に対する支援			④							
		②	集落協定に基づく水路・農道等の維持管理活動に対する支援			⑤							
		③	集落協定に基づく多面的機能を増進する活動に対する支援										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		協定農用地面積		m <sup>2</sup>	目標	—	—	—	—		
					実績	5,007,863	5,021,016						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業							
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	69,020 千円	69,296 千円	69,674 千円	中山間地域等直接支払事業 第1期H12～H16(5年間) 第2期H17～H21(5年間) 第3期H22～H26(5年間)							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	92 千円								
		一般財源	23,403 千円	23,549 千円	23,615 千円								
		計(A)	92,423 千円	92,845 千円	93,381 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.949 人 7,154 千円	0.950 人 5,737 千円	0.950 人 5,747 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		99,577 千円	98,582 千円	99,128 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	担い手の高齢化、減少等により国土の保全、多面的機能の低下が特に懸念されているなかで、耕作放棄の発生防止、多面的機能の確保のため、実施要領に基づく本制度は必要です。												
有効性	協定に基づく5年間の継続した活動等に対するの事業であり、類似する事業がなく、有効です。また、各種施策との連携を図り、耕作放棄の防止に努めます。												
達成度	事務(事業)の性質上、指標設定ができませんが、対象農用地において耕作放棄地は発生していないため、目標は達成しているといえます。												
効率性	協定農用地の面積に応じて交付金額が算出されています。また、システムを導入し、制度の効率的な運用及び人件費等のコスト削減に努めています。												
当面の課題	集落協定を結ぶ農業者の意欲は高く、中山間地域の農業の保全を図る上で事業効果は大きいといえますが、農業者の高齢化等により、協定農用地面積は縮小する可能性があります。												
改革計画	農業生産活動等の維持を図りながら、多面的機能を確保する必要があり、中間年評価等により、協定集落に対し、的確な助言等を行います。また、各種施策との連携を深め、さらなる制度の利活用を図ります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	集落協定内容の達成、進捗状況を見ながら、農業生産活動等の維持を図り、高齢化の進行にも配慮した取り組みが必要です。												

No.	013	—	2011	事務事業名	農村環境改善センター維持管理事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	農業者				根拠法令	東温市農村環境改善センター条例						
	事業の目的	最終的	農林業の振興及び生活環境の改善、合理化並びに地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を効果的に推進します。				今年度						
	活動内容	①	使用申請受付・許可書発行				④	修繕事務					
		②	ガス・水道・電気メーター検針及び料金支払				⑤						
		③	施設警備、消防設備点検、浄化槽維持管理、特殊建築物定期調査、植木剪定、電気保安業務委託事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
				事務の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業						
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	昭和63年に竣工され、JAえひめ中央農業協同組合と併設した建築物です。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	3,870 千円	1,213 千円	555 千円								
		一般財源	6,546 千円	1,809 千円	1,896 千円								
		計(A)	10,416 千円	3,022 千円	2,451 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.170 人	1,281 千円	0.170 人						1,027 千円	0.170 人	1,028 千円
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		11,697 千円		4,049 千円		3,479 千円						
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	農業者を利用対象者としている東温市唯一の施設ですが、対象者の利用頻度は低く、現在の事業運営方法の改善の余地があります。												
有効性	各種集会や講演会等を行える会議室、農業生産物を加工するための調理室等も整備されており、利便性は高いものの、老朽化等により修繕箇所が見受けられます。												
達成度	農業者対象の会議は他施設(市庁舎)を利用することが多く、調理室も利用率は低下しています。												
効率性	建築後長期間が経過し、修繕箇所が多く発生していますが、限られた予算内で効率よく修繕等実施しています。												
当面の課題	利用対象者の施設利用頻度は減少していますが、施設の老朽化のため修繕費用が増加しています。利用率の増加を図る対策を講じる必要があります。												
改 革 画	予算の範囲内で施設の修繕等を行い、今後も適切な維持管理運営を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	利用者が低迷しています。事業目的に沿って、利用者を増やし、維持・管理する事が必要です。												

No.	013	—	2013	事務事業名	農地・水保全管理事業	細事務事業名	補助金交付・申請受付報告・現地確認・協定変更・実績報告事務	公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	19年度～28年度 <input type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進						
	事業の対象	共同活動支援（農地、農業用水、農村環境等の保全向上活動）22地区 向上活動支援（共同活動支援地域内で行う施設の長寿命化）4地区 愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会				根拠法令	東温市農村環境保全向上活動支援事業補助金交付要綱						
	事業の目的	最終的	地域住民など多様な主体の参画を得ながら、地域共同で取り組む農村環境等の保全活動及び農村環境等の将来にわたる適切な保全管理と、地域住民共助活動の促進による農村地域の活性化を図ります。				今年度						
	活動内容	①	農業者やその他の地域住民を中心とし、地域が一体となって農用資源の適切な保全管理や農村環境向上を行う活動組織に対し、地域協議会を経由して交付金を交付します。				④						
		②	愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会及び市の推進事業について補助金を交付及び受領します。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	13,657 千円	14,825 千円	14,964 千円	平成23年度より農地・水・環境保全向上対策は農地・水保全管理支払交付金となり、営農活動支援交付金が分離して環境保全型農業直接支援事業となり、代わりに、向上活動支援交付金が追加され、以降、従来の共同活動支援交付金と追加した向上活動支援交付金を計上しています。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	132 千円								
		一般財源	13,610 千円	15,006 千円	15,142 千円								
	計(A)	27,267 千円	29,831 千円	30,238 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.430 人	3,241 千円	0.442 人	2,669 千円	0.442 人	2,674 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		30,508 千円	32,500 千円	32,912 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	国策事業として農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取組を支援する必要があります。												
有効性	資源の適切な保全管理を行うとともに農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進することができます。												
達成度	農地・農業用水等の資源を活用して行う生態系保全、水質保全、景観形成等の農村環境を向上させています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	地域で様々な人々の参画を呼びかけていかなくは、農地や農業水路などの農業関連施設の保全・管理がままならなくなってしまいます。												
改訂計画	地域資源に誇りを持ち、地域が一体となって地域の農業関連施設を保全・向上していくことの大切さについて理解を深める必要があります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	地区によっては、事業を中止した所、成果が十分に上がっていない地区もあることから、事業内容の充実が必要です。												

No.	013	—	2018	事務事業名	森林病虫害等防除事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託・補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	塩ヶ森ふるさと公園の松林 (3ha)				根拠法令							
	事業の目的	最終的	松くい虫の被害から守るため、防除薬剤の地上散布を実施するとともに枯れてしまった松の伐倒整備を行い、駆除薬剤を散布することで被害の拡大を防ぎます。松枯れを防ぐことにより、景勝地として維持し、また水源かん養や崩落防備等の防災機能を維持することができます。				今年度						
	活動内容	①	松くい虫防除薬剤の地上散布を実施します。				④						
		②	枯れた松の伐倒整備を行い、松くい虫駆除薬剤の散布を行います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
				事業の性質上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業						
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	284 千円	365 千円	250 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	210 千円	121 千円	392 千円								
		計(A)	494 千円	486 千円	642 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.042 人	317 千円	0.042 人	254 千円	0.042 人	254 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		811 千円		740 千円		896 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市の財産である塩ヶ森ふるさと公園の松林を守り、また松林の持つ防災機能を維持するために必要な施策であると考えます。薬剤等についても人体に影響のないものを用いています。												
有効性	松林を枯らさずに残すことができ、施策の目的を実現するためには有効な事業です。												
達成度	地上散布業務を行うことで、松林の松枯れの被害拡大を防ぐことができ、十分目標は達成できています。												
効率性	地上散布は年に1回、伐倒駆除は松の枯れ具合を見て必要最低限の回数で実施しており、必要最小限のコストと人員で効果を上げています。												
当面の課題	地上散布以外にも、より効果の高い事業の方法を模索していく必要があると考えます。												
改 革 画	今後の様々な研究成果等を参考にし、効果的な防除の方法を模索していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	議会(一般質問)で議員から指摘のあった、害虫の「拾い取り調査」も検討してください。												

No.	013	—	2021	事務事業名	被害木防災対策事業	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(2) 森林の保全・育成と総合的利活用				
	事業の対象	東温市内の放置被害木				根拠法令							
	事業の目的	最終的	山道、林道、市道や河川周辺の放置被害木(松林)を伐倒整理し、道路機能や河川機能の確保に努め、防災の一助とします。			今年度							
	活動内容	①	被害木(松林)の伐採、撤去を行います。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		被害木の本数				本	目標	—	—	160			
					実績	165	156						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	704 千円	735 千円	763 千円								
	計(A)	704 千円	735 千円	763 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.011 人	83 千円	0.011 人	66 千円	0.011 人	67 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		787 千円	801 千円	830 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	住民の生活の安全を守るため、今後も市が主体的に事業を実施する必要があります。												
有効性	事業を継続することで、施策の目的を実現しており、有効な事業です。												
達成度	東温市内に存在する放置被害木の調査を行った上で、倒木や倒木の恐れのある被害木を伐倒・整理していますので、目的は達成しています。												
効率性	効率的に行われており、実施手段等特に問題はありません。												
当面の課題	防災対策として、松林以外にも、放置された枯れ木の伐採も検討する必要があります。												
改革計画	今後とも森林所有者と協議しながら、効率的な事業実施に努めます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	施行場所は、限定出来ませんが、今後も引き続き継続することが必要です。												

No.	013	—	2022	事務事業名	森林ボランティア事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	東温市民の方々				根拠法令							
	事業の目的	最終的	森林ボランティア活動を通じて、森林のもつ公益的機能についての理解を深めるとともに、森とのふれあいにより、森づくりの輪を広げていきます。			今年度							
	活動内容	①	抵抗性松の植樹			④	木質ペレットづくり						
		②	椎茸の植菌			⑤	枝打ち						
		③	杉・桧の間伐										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		森林ボランティアの活動人数				人	目標	—	—	(スタッフを除いて)40	70		
					実績	(スタッフを除いて)26	(スタッフを除いて)22						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	平成23年度が県土連の委託事業として、実施されたため、市の支出はありませんでした。平成24年度は市の事業として実施します。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	245 千円	0 千円	479 千円								
	計(A)	245 千円	0 千円	479 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.043 人	324 千円	0.043 人	260 千円	0.043 人	260 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		569 千円		260 千円		739 千円						
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	近年高まりつつあるボランティア・エコへの市民の関心の受け皿として、市が主体となって活動を行うことは必要と考えます。												
有効性	目的の達成のため、市が適切な内容を決定する今の事業方法が有効です。												
達成度	概ね達成できていると考えておりますが、さらに参加人数が増えるように取り組んでいきます。												
効率性	他の自治体の取り組みを参考にし、他の関係機関と協力することで、より効果を挙げられるよう検討していきます。												
当面の課題	参加人数が横ばいであり、増加のため、ボランティアの内容、特に告知方法等について、もっと工夫が必要と考えます。												
改革計画	他の関係機関の取り組みを参考にし、周知範囲を小中学生から更に拡大し、幼稚園・保育所など、親子連れでの参加を検討中です。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	より多くの人に参加を呼びかけ、内容、方法の改善が必要です。												

No.	013	—	2025	事務事業名	有害鳥獣捕獲事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託・補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	市内の山林及び山林に隣接する農地及び農作物				根拠法令							
	事業の目的	最終的	有害鳥獣による被害が深刻化しており、その被害を最少限に抑えるため、有害鳥獣捕獲活動及び農林地への侵入防止対策を実施します。			今年度							
	活動内容	①	有害鳥獣(野猿、猪、鹿、カラス)の捕獲事業			④							
		②	農林地等侵入防止施設の整備事業			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		有害鳥獣の捕獲数		農作物被害を起こしうる鳥獣を捕獲した数		頭、羽	目標	実績	目標	実績			
					目標	実績	目標	実績					
					目標	実績	目標	実績					
					目標	実績	目標	実績					
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	130 千円	703 千円	250 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,830 千円	4,755 千円	6,225 千円								
	計(A)	2,960 千円	5,458 千円	6,475 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.113 人	852 千円	0.113 人	682 千円	0.113 人	684 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		3,812 千円	6,140 千円	7,159 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民の農作物等への被害を食い止めるために、必要な施策です。												
有効性	事業を行うことで、被害を未然に防ぎ、拡大を最少限に抑えている点から有効です。												
達成度	侵入防止策については、現地視察でも周囲の農地と比べ被害が少なく、目的は達成できていると考えます。捕獲事業については、被害を抑えるというよりは現状維持に留まっており、新たな策を講じる必要があります。												
効率性	生息数に伴い捕獲数が年々増加してきており、適切な捕獲を継続するため、捕獲奨励金や補助金の見直し等が必要と考えます。												
当面の課題	鳥獣の行動範囲が銃器の使用できない市街地の近くまで広がってきており、被害、目撃の情報が寄せられてもすぐさま捕獲を行うことが出来ない場面が出てきています。また近年は猿による被害が多くなっています。												
改 革 画	捕獲だけではなく、地域とも連携した総合的な取り組みを実施していきます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	農林業関係者、関係機関、地域代表者で構成する「鳥獣被害防止対策協議会」設立の検討が必要です。												

No.	013	—	2029	事務事業名	環境保全型農業直接支援事業	細事務事業名	補助金交付・申請受付報告・現地確認・実績報告事務	公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	23年度～27年度	<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(1) 農業振興施策の総合的推進				
	事業の対象	① 農業者（法人を含む） ② 共同販売経理を行う集落営農 ③ 農業者グループ			根拠法令	東温市環境保全型農業直接支援事業補助金交付要綱							
	事業の目的	最終的	意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、国内農業の再生を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能の維持・増進を図ります。			今年度							
	活動内容	①	化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組とカバークロープの作付を組み合わせた取組を行う農業者に対し交付金を交付します。			④	有機農業の取組（化学肥料、農薬を使用しない取組）を行う農業者に対し交付金を交付します。						
		②	化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組とリビングマルチ又は草生栽培を組み合わせた取組を行う農業者に対し交付金を交付します。			⑤							
		③	化学肥料、化学合成農薬の5割低減の取組と冬期湛水管理を組み合わせた取組を行う農業者に対し交付金を交付します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	643 千円	917 千円	平成23年度より農地・水・環境保全向上対策の営農活動支援交付金が分離して環境保全型農業直接支援事業となった。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	671 千円	917 千円								
	計(A)	0 千円	1,314 千円	1,834 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.021 人	127 千円	0.021 人	127 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円	1,441 千円	1,961 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	国策事業として、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援する必要があります。												
有効性	地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献できます。												
達成度	要件を満たし、販売を目的として生産を行う農業者等が支援の対象となります。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが必要となっています。												
改訂計画	農業者に対して環境保全効果の高い営農活動に取り組む周知を行います。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	制度の見直しにより、利用の難しい支援事業となり、現在は有機農業者のみの利用となっていますが、今後は広く、積極的に普及啓発を行う事が必要です。												